新たな時代を切り拓くまちづくり

千葉公園「芝庭」

2024年度（上期）
市長と語ろう会

千葉開府 since 1126 Road to 900

千葉市 CHIBA CITY

はじめに

転入超過数（上位10都市の年代別内訳）

住民基本台帳人口移動報告　2023年（令和５年）結果

順位(R4)	都市	総数	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	対前年増減数	
1(1)	東京23区	53,899	-10,339	8,539	89,812	-6,749	-6,636	-7,150	-13,578	32,479	(1)
2(3)	大阪市	12,966	-3,354	1,432	16,755	-2,183	-150	444	21	3,863	(2)
3(5)	横浜市	9,731	-354	1,904	8,493	1,219	64	-663	-932	1,305	(6)
4(4)	札幌市	8,933	251	2,054	1,822	365	681	823	2,937	20	
5(6)	福岡市	8,911	18	2,489	4,509	506	362	239	788	2,880	(4)
6(2)	さいたま市	7,631	811	653	3,458	1,845	579	-138	423	-1,651	
7(17)	川崎市	5,475	-2,364	1,136	11,582	-1,702	-1,152	-1,108	-917	3,266	(3)
8(8)	千葉市	5,088	267	864	1,802	955	494	249	457	1,569	(5)
9(26)	茅ヶ崎市	2,520	—	—	—	—	—	—	—	960	
10(25)	平塚市	2,499	—	—	—	—	—	—	—	932	

千葉市は、
子育て世帯を含む
全世代で転入超過

東京23区、大阪市や川崎市は、
0～9歳がいる子育て世代で
転出超過

はじめに

転入した理由

千葉市への主な転入理由は、
「雇用」「住環境」「都市機能(交通・道路ネットワーク、買い物などの利便性)」「身近な緑・環境」など

東京都からの転入者アンケート
（期間2022.2.1～2.28、回答数865）

●居住地選択に関する価値観の変化

①	**在宅時間が長くなり**より**良い住宅環境**を求めるようになった	36.5%
②	**テレワーク**等により**交通の便を最重要視しなく**なった	26.5%
③	**自然豊かな場所**がよいと思うようになった	23.6%
④	親族と近い距離に住む方がよいと思うようになった	23.1%
⑤	より人口密度の低い**郊外へ居住**したいと思うようになった	16.9%
⑥	**災害に強い都市**に住みたいと思うようになった	11.9%
※	価値観の変化はなかった	30.8%

『住まい変更』WEBアンケート（転入者アンケート）
（期間2023.6.1～2024.4.30、回答数543）

◆千葉市を転入先に選んだ理由 ※複数回答可

①	通勤・通学に便利だから	48.4%
②	住宅価格・家賃が手ごろだから	28.9%
③	親族・知人が住んでいるから	24.3%
④	交通が便利だから	21.4%
⑤	日常の買い物が便利だから	19.2%

新たな時代を切り拓くまちづくり

- 妊娠期から子育て期までの支援の充実
- 重層的・包括的支援体制の構築
- 災害対応体制の強化
- 脱炭素社会実現に向けた施策
- 持続的な公共交通ネットワークと都市の魅力向上
- 雇用の確保・拡大と人材育成の強化
- 地域社会の充実

妊娠期から子育て期までの支援の充実

社会全体で子育てを支え、
子どもを産み育てたいと思える環境づくり

➢ 妊娠期から子育て期までの支援の充実

・児童手当支給
・子ども医療費助成（高3まで拡大）
・産後ケア（産後11か月まで拡大）
・こども発達相談室運営

➢ 子育てしやすい保育環境の充実

・民間保育園等整備
・幼児教育・保育のバージョンアップ宣言
(幼児教育・保育人材支援センター開設、公立保育所主食提供など)
・こども誰でも通園制度
・学校・保育施設等給食費等支援
・子どもルーム整備、Wi-Fiの整備

➢ 不登校対策の推進

・ライトポート
・ステップルームティーチャー活用
・各種カウンセラー活用
・フリースクール運営委託

➢ 教育環境の充実

・体育館冷暖房設備整備
・学校トイレの洋式化
・小学校専科指導のための非常勤講師の配置
・教員奨学金返還サポート

児童虐待防止対策の強化

・新児童相談所等の整備(中央区末広)　・子ども家庭総合支援拠点管理・運営　・子育て世帯訪問支援

妊娠期から子育て期までの支援の充実

不登校対策の推進

- ライトポートの支援体制強化
- ステップルームティーチャー活用
- 各種カウンセラー活用
- フリースクール運営委託・支援

教育環境の充実

- 学校トイレの洋式化
- 体育館冷暖房設備整備
- 小学校専科指導のための非常勤講師の配置
- 教員奨学金返還サポート

＜ＳＲＴ活用の様子＞

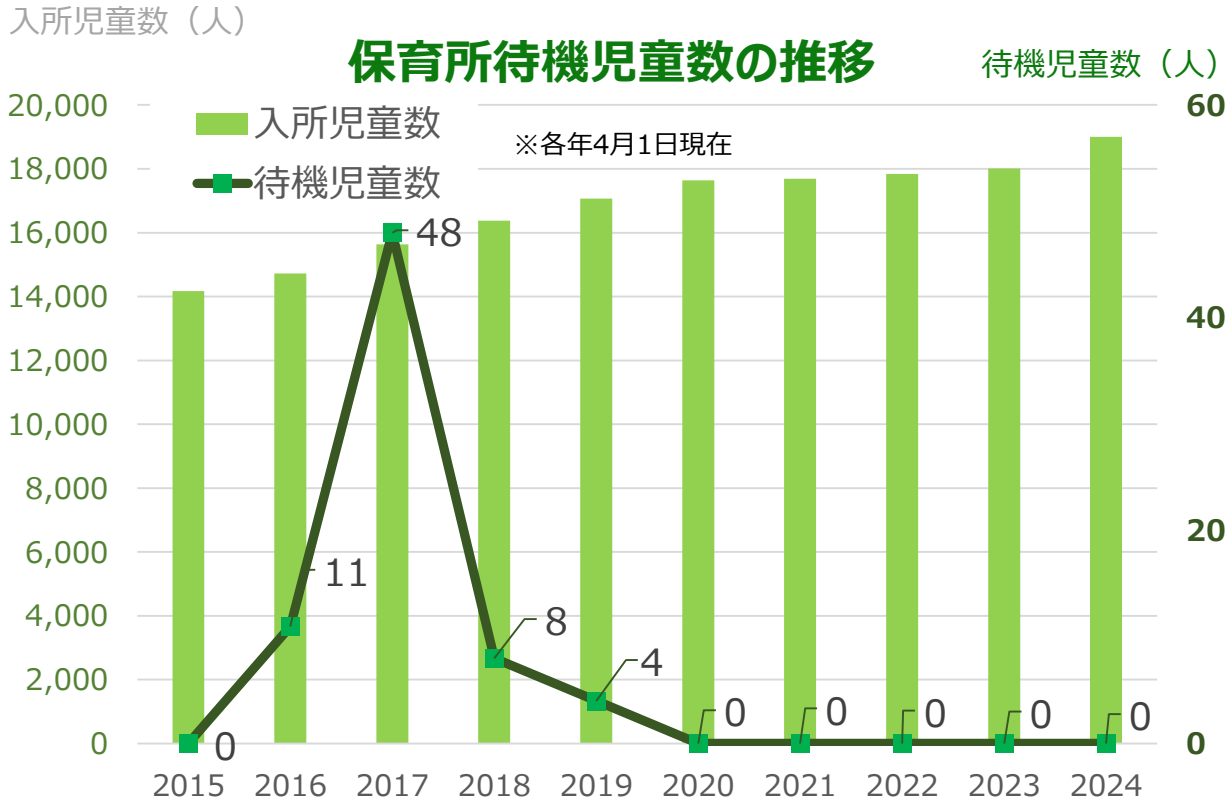
＜ライトポートでの栽培活動＞

妊娠期から子育て期までの支援の充実

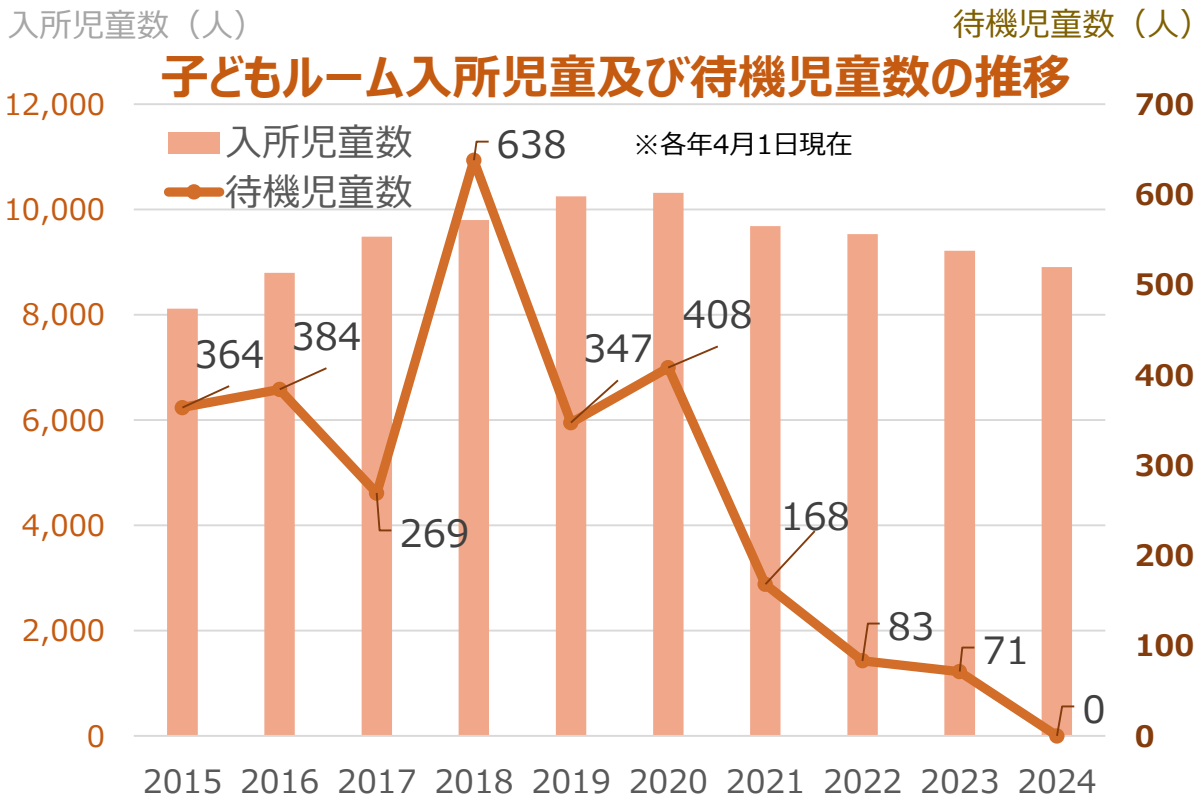
保育所、子どもルーム入所待機児童の解消

- **保育受け皿の大幅拡充により待機児童を削減**
- **5年連続待機児童「ゼロ」達成！**

保育士等の確保のため、給与改善に係る補助金を4万円に増額



- **積極的な施設整備で受入枠を拡充**
- **公設子どもルームの民間事業者委託など運営を多様化し、指導員の人材確保　　待機児童「ゼロ」達成！**



※　利用者数の減少はアフタースクール移行などの取組みなどが要因

こども誰でも通園制度の本格実施を見据えた試行的事業

こども誰でも通園制度の本格実施を見据えた試行的事業

2024年新規

事業概要

就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育所等を利用できる「こども誰でも通園制度」を試行的に実施。

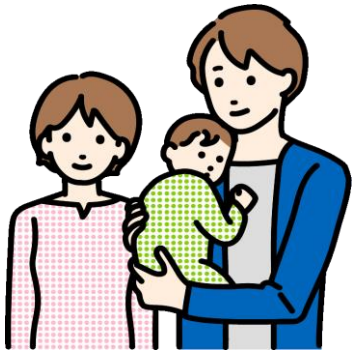
- 利用対象者　…保育所等に通所していない0歳6か月～満3歳未満児
- 実施対象者　…保育所、認定こども園、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、幼稚園、地域子育て支援拠点、児童発達支援センター等で適切に事業を実施できると市が認めた者
- 利用時間　…一人当たり「月10時間」を上限
- 保護者負担額…300円/時間
- 事業実施期間…2024年7月～2025年3月まで（予定）

利用までの流れ

千葉市

①利用認定申請

②認定通知



利用者

③事前登録・利用申込

④利用

保育所など

重層的・包括的支援体制の構築

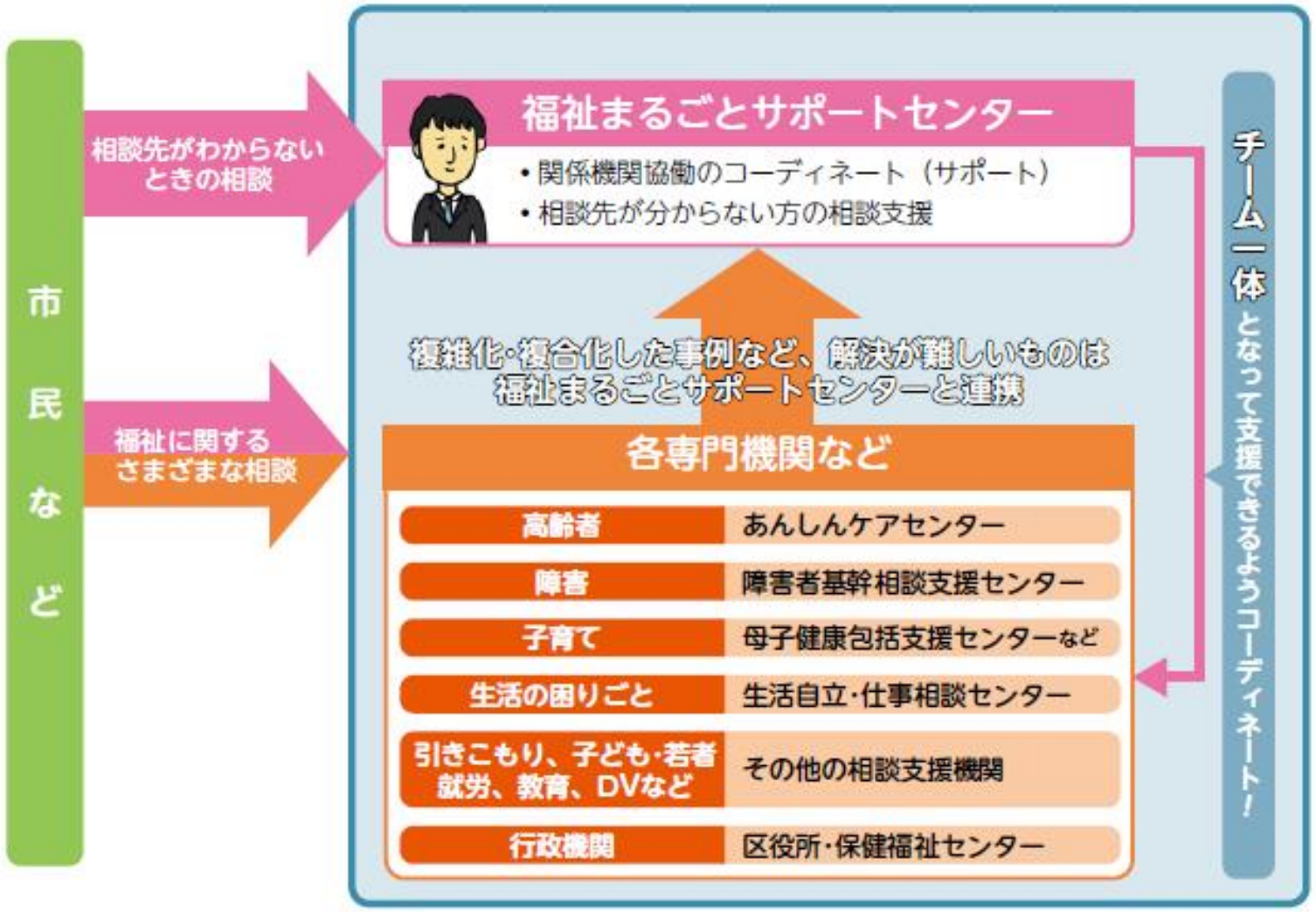
福祉まるごとサポートセンター（福まる）2023年10月2日開設

福まるの相談機能
①包括的に相談を受け止める機能
②関係機関協働のコーディネート機能
③アウトリーチ機能（2024年4月開始）

【開所時間】
月～土曜日　8：30～17：30
（祝・休日、年末年始を除く）

【場所】
中央コミュニティセンター8階

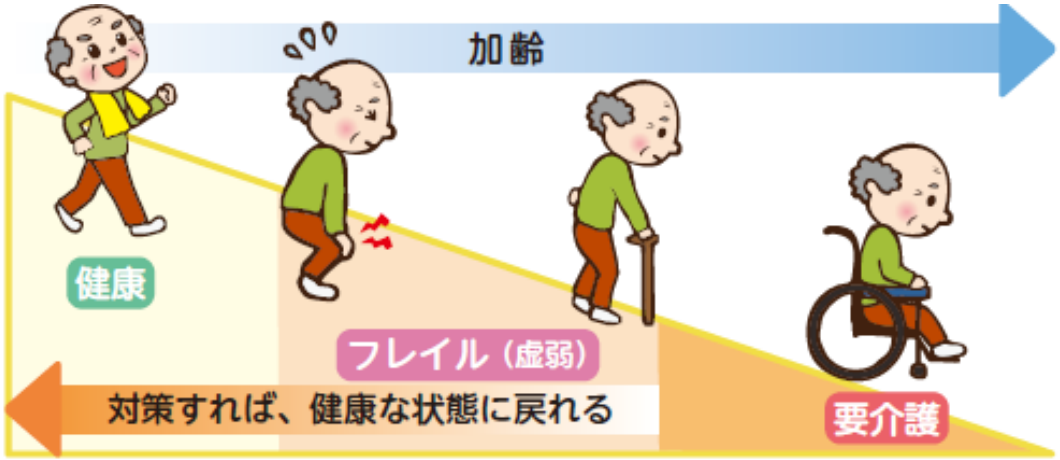
【相談方法】
電話、FAX、メール、来所
TEL：245-5782
FAX：245-5824
Eメール：
fukumaru-sc@city.chiba.lg.jp
※本人だけでなく、家族や周りの方からの相談もお受けする



重層的・包括的支援体制の構築

フレイル改善

フレイル状態の方で、特に運動機能の低下が見られる方に対し、リハビリテーション専門職が週に1回自宅に訪問し、身体機能の回復に向けた、自宅でできる運動メニューなどを作成するとともに、身体の状態に合わせたアドバイスを行います。
支援期間：3か月～6か月



高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

各区保健福祉センター健康課　保健師・管理栄養士・歯科衛生士・看護師

◆ 通いの場・イベント等

- 健康教育
- 参加者の状態把握
- 健康相談

◆ フレイルが疑われる方への個別支援

- 低栄養
- 口腔機能低下
- 運動機能低下

高齢者の日常生活を支えるサービス提供の基盤整備

①施設整備（特別養護老人ホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、（看護）小規模多機能型居宅介護））、
②サービスを支える介護人材の確保　③その他の事業所支援（非常用自家発電設備、階段昇降機の導入支援）

重層的・包括的支援体制の構築

新病院

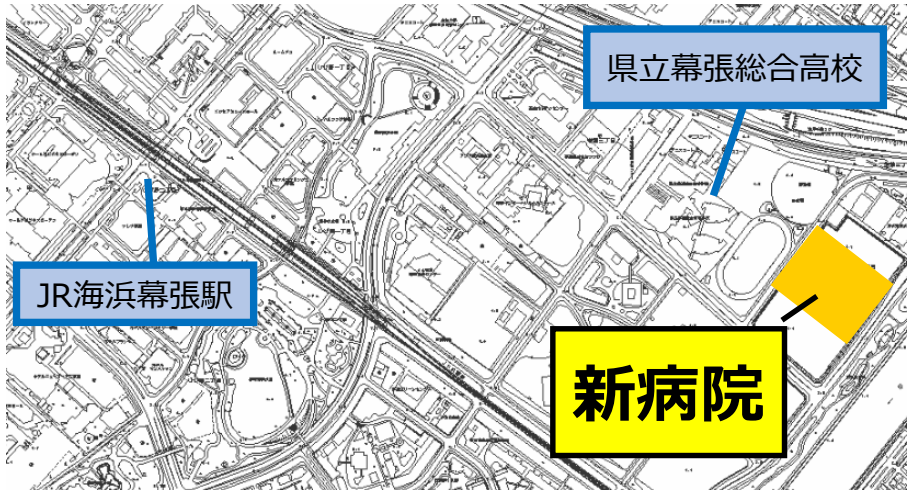
①胎児から高齢者まで切れ目のない医療の提供

②救急医療の強化

③災害医療の強化

④がん診療体制の強化

⑤感染対策の強化



案内図

外観イメージ（花見川通り側）

内観イメージ（総合受付）

災害対応体制の強化

災害対応体制の強化

■ 防災アセスメント調査
適切な避難手法、避難先などの対策を検討するため、大規模な風水害において想定される建物被害・人的被害を調査

■ 防災備蓄倉庫の整備
避難所等に配備した備蓄品を適切に管理するため、防災備蓄倉庫を整備

■ 避難所運営委員会の活動支援
避難所運営委員会の設立促進及び活動支援補助金等の支援

市民の防災意識と地域防災力の向上

■ 避難行動要支援者の支援体制強化
避難行動要支援者名簿の提供や個別避難計画の作成を推進

消防力の充実・強化

■ 消防防災ヘリコプター「おおとり2号機」の機体更新
■ 365日運航体制

更新機種　レオナルド社製AW169型

災害対応体制の強化

武力攻撃事態等における避難施設の指定　2024年3月25日追加指定

武力攻撃事態等において、住民の方の避難および避難住民の救援を的確かつ迅速に実施するため、避難施設を指定。
（2024年4月1日 355カ所）

■新たに指定した避難施設（27カ所）
（１）公共施設 県有施設　13施設
（２）大規模商業施設 イオンリテール　3施設
（３）銀行
- 千葉銀行　2施設
- 千葉興業銀行　6施設
- 京葉銀行　3施設

クールスポットの開設

熱中症による健康被害の発生防止の観点から、「熱中症警戒アラート」などが発表された際に、市民等が避難・休憩できる施設。
公共施設及び協力いただける民間施設を指定し、施設によっては、アラートの発表にかかわらず暑熱を避けるために休憩可能となる。

脱炭素社会実現に向けた施策

脱炭素先行地域事業　（計画期間：2023年～2028年）

・公共施設等への太陽光発電設備の設置
・清掃工場余剰電力活用調査
・市遊休地への太陽光発電設備の導入に係る調査
・幕張メッセのLED化

市民（住まい・交通）に向けた取組み

・住宅用再エネ・省エネ設備等設置費助成
・次世代自動車購入費助成
・市役所市民駐車場に電動車用充電設備を整備

事業者に向けた取組み

・中小事業者向け省エネ設備導入費助成
・脱炭素推進パートナー支援制度

千葉市脱炭素キャラクター
エコ葉

プラスチック分別収集・再資源化モデル事業

モデル地区において、プラスチック分別収集・再資源化、ごみ組成分析、アンケート調査などを実施

持続的な公共交通ネットワークと都市の魅力向上

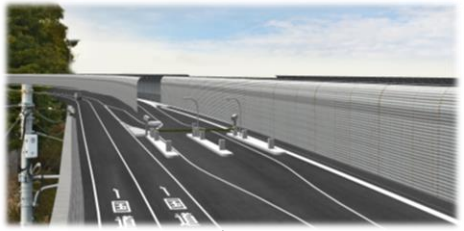
道路ネットワークの形成

千葉鎌ヶ谷松戸線の整備
平成29年8月開通

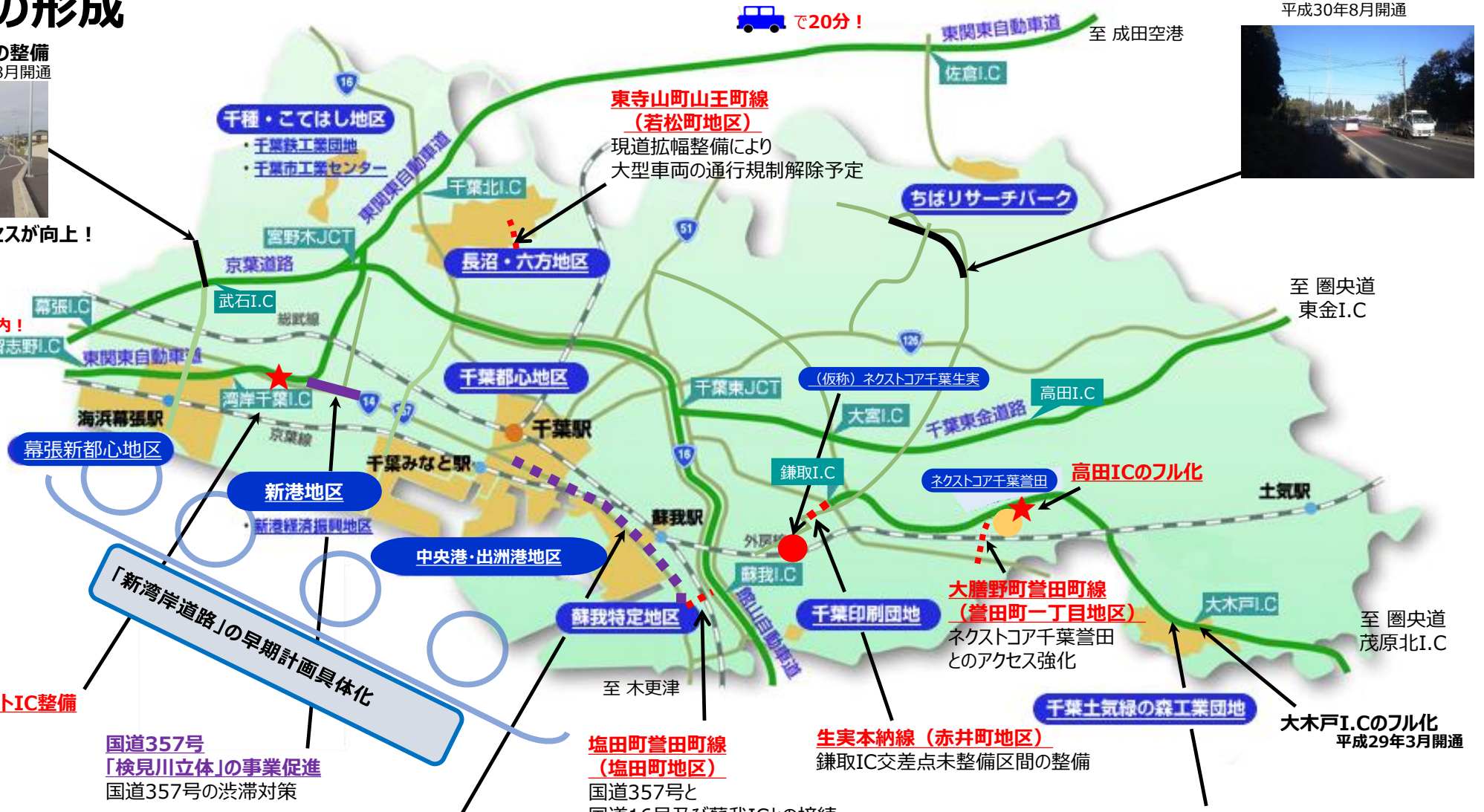
⇒武石ＩＣへの アクセスが向上！

至 東京都心
羽田空港
で30分圏内！

(仮称)検見川・真砂スマートIC整備



ICイメージ



浜野四街道長沼線の整備
平成30年8月開通

東寺山町山王町線
（若松町地区）
現道拡幅整備により
大型車両の通行規制解除予定

高田ICのフル化

大膳野町誉田町線
（誉田町一丁目地区）
ネクストコア千葉誉田
とのアクセス強化

大木戸I.Cのフル化
平成29年3月開通

（仮称）検見川・真砂スマートIC整備
東京方面とのアクセス向上

赤色…千葉市事業
紫色…国直轄事業

国道357号
「検見川立体」の事業促進
国道357号の渋滞対策

国道357号湾岸千葉地区改良（蘇我地区）
市役所前に続き6車線化整備

塩田町誉田町線
（塩田町地区）
国道357号と
国道16号及び蘇我ICとの接続

生実本納線（赤井町地区）
鎌取IC交差点未整備区間の整備

生実本納線（旧外房有料道路）
2023年２月に無料化

持続的な公共交通ネットワークと都市の魅力向上

地域公共交通支援
路線バスやタクシーの運転手不足への対策として、運転手養成支援や求人支援を実施。

生活交通バス路線維持支援
生活交通として必要なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行に係る経費の一部を助成。

大宮台コミュニティバス運行
2024年4月1日から路線バス廃止に伴い、新たなコミュニティバスを運行。

高津戸乗合タクシー

新たな地域公共交通導入に向けた社会実験
公共交通不便地域における施策検討のため、地域特性などを考慮した地域主体によるデマンド型交通の社会実験を実施。緑区高津戸町北部エリアに加え、2024年度から新たに大椎台、下大和田地区を追加。

グリーンスローモビリティ（グリスロ）
スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域において、地域の方々とともに、地域の移動ニーズにきめ細かく対応。桜木地域や都賀の台地域では継続的な定期運行を行っているほか、2024年度から新たに幕張ベイタウン地区でも中長期の運行を開始する予定。

グリスロ（桜木地域リスタート式）

電動サイクルシェアサービス
道路交通法の改正に伴い、新たなシェアリングサービスの有効性を検証するため、特定小型原動機付自転車シェアサービス実証実験を2024年1月から実施。

京葉線のダイヤ改正に向けた取り組み
市民生活の維持や千葉市の将来にわたる持続性と発展性
東京方面との速達性・混雑の平準化、幕張新都心・蘇我副都心等の拠点性の維持・確保

持続的な公共交通ネットワークと都市の魅力向上

河川を活用したまちづくりの推進

河川（都川、花見川、鹿島川）を活用し、
人々と河川との良好なつながりを築き、
地域活性化につなげていくため、
河川空間とまちなかの公園などの地域資源を
一体的に活用する社会実験などを行う。

- 都川
  親水空間利活用社会実験
- 花見川
  花島公園の利活用
  花見川千本桜緑地の利活用
  サイクリングコースの環境整備
- 鹿島川
  気球体験

都川沿いの親水空間（本町公園）

葭川沿いの親水護岸（葭川公園）

花見川サイクリングコース

花見川千本桜緑地
（ちばかわまつり開催風景）

持続的な公共交通ネットワークと都市の魅力向上

➢ 官民連携による公園の魅力向上

2024年4月 千葉公園に賑わいエリア「芝庭」オープン

- 野球場跡地及び周辺エリアを、芝生をメインとしたオープンスペースへとリニューアル。
- Park-PFI制度を活用して飲食店、運動施設や交流スペース等を提供する拠点施設を設置し、新たな賑わいや交流を施設を整備。
- 産官学金が連携して子どもがアートや音楽を体験できる「寺子屋」が9月から始動

➢ 身近な公園のトイレ快適化

- 身近な公園の便器洋式化
- 身近な公園のトイレ内外装の改修：2公園
- 建替え実施設計　2棟
- トイレ清掃回数の増加

稲毛公園のトイレ（改修後）

雇用の確保・拡大と人材育成の強化

中小企業のリスキリング促進

今後も生き残れる企業・職業人であり続けるため、従業員の育成・能力開発の促進、様々な学びが必要

課題１　助成対象は今のままで良い？

- 旧制度では、千葉商工会議所ビジネススクルやポリテクセンター能力開発セミナーなどに限定。
- 今後のビジネスに役立つ学びはそれだけ？

➡

- 対象となる研修内容の制限を撤廃！
- 社内研修・資格取得費用での利用もOK！

※資格取得支援制度対象資格は対象外

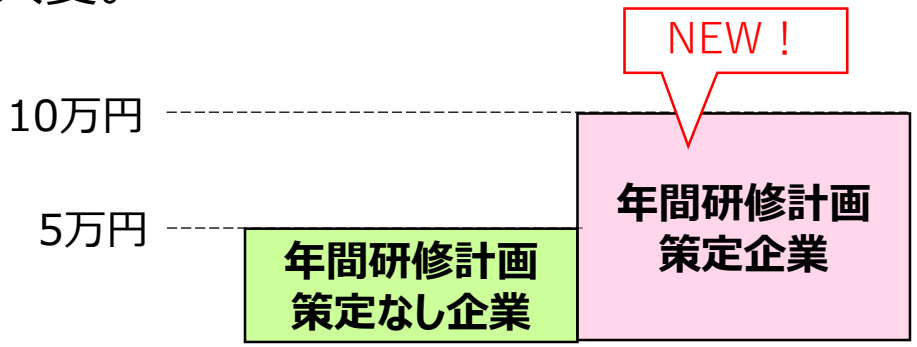
課題２　企業が従業員の育成・能力開発を進めるには何が必要？

- 企業の理念や目標、事業計画・内容を踏まえて人材育成方針や計画を定め、実行すること。
- ただ…いきなり大きな計画を作るのは大変。

➡

- 年間の研修計画策定を支援。
- さらに、計画策定したら助成額上限を引き上げ！

＜助成対象経費＞
・外部研修受講料
・テキスト代、教材費
・内部研修実施時の外部講師謝金、旅費
・資格試験対策講座受講料
・資格試験受験料



いずれも
対象経費の<u>1/2を助成</u>
（千円未満切捨）

雇用の確保・拡大と人材育成の強化

運輸業・建設業の資格取得支援

運輸業・建設業では、人手不足が著しく、恒常的に続いている。
＝経営を継続する上で必要な人材を確保できていない。

＋

2024年4月～時間外労働の上限規制が本格適用

↓

社会インフラ維持の危機！

↓

運輸業・建設業の従業員に取得が求められる
一部資格の取得費用を助成

＜主な対象資格＞
運輸業：自動車第一種免許（普通車除く）、運行管理者、自動車整備士
建設業：施工管理技士、電気工事士、電気主任技術者

企業立地促進、産業用地確保により雇用を創出

・2015～2022年度までの補助金交付企業がこれまでに**約12,000人**の雇用機会を創出
・成長産業企業を重点的に誘致することで雇用創出を図る

例：メルセデスベンツ日本㈱/メルセデス・ベンツ・ファイナンス㈱　本社
東洋エンジニアリング㈱　技術研究所
イオンネクスト㈱　次世代型ネットスーパー拠点
㈱Peace Deli　食品製造工場

地域社会の充実

町内自治会DX化モデル事業

１　目的

　町内自治会業務へデジタルを活用することにより、活動への参加しやすさの向上や負担軽減等の効果、支援策について検証を行う。

２　実施内容

　2つのテーマに分け、それぞれモデル事業を実施する。

　テーマ①：アプリを活用した情報共有・地域交流

　テーマ②：役員業務の負担軽減

書かない窓口導入

令和8年1月から「書かない窓口」を導入し、窓口で来庁した方と一緒に手続きを進めることで、記入に係る負担を軽減。

（内容を確認し、原則署名をするだけで手続きが完了する）

外国人市民向けごみ出しルール周知啓発

外国人市民向けにごみの分別排出ルールについてのチラシを作成するほか、大学・国際交流協会等と協力して周知啓発を実施

日本語教室運営助成

外国につながりを持つ児童生徒のための日本語教室を運営する団体に対し助成

日本語教室の様子

コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度

外国人市民の円滑な意思疎通や情報伝達を支援するため、支援を必要とする外国人市民と通訳・翻訳ボランティアをマッチングする制度